

ボランティアによる海岸防災林再生への取組

海岸防災林再生植樹参加者による記念撮影



名取市下増田地内(台林国有林内「社会貢献の森」)平成26年5月4日

海岸林と地域の関係(震災前)

- 1 海岸林の造成は、古くから農業振興や失業対策のため造成
→地域の生活を守る必要不可欠なもの
- 2 地域の人々が植栽や維持管理→海岸林保護組合の設立
- 3 社会の変化、世代替わり、後継者等不足で関わりが薄くなってきていた

海岸林と地域の関係(震災後)

- 1 海岸防災林の壊滅的な被災(防災林の流亡)
→防潮堤の復旧や海岸防災林の再生が急務
- 2 地域のコミュニティも震災前に戻れない現状
- 3 海岸林保護組合の活動停止

民間レベルでの海岸防災林の再生
に対する支援の活動が開始された

(公社)宮城県緑化推進委員会の取組

- 1 公益社団法人国土緑化推進機構と県緑推が共同で、ボランティア等団体が植樹活動等に参加しやすいように、地域づくりを支援
- 2 地域住民が離散(被災)している中で、地域住民が各種支援団体の協力を得ながら、海岸防災林の植栽や保育が進められるよう仕組づくりを支援
- 3 地域結束による海岸林の管理を期待

ハマボウフウ



ハマヒルガオ



ハマエンドウ



ハマギク

